

# がまこおり 議会 だより

## ● 9 月市議会定例会 ●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～9  
18 年度決算を認定
- 委員会通信  
委員会の行政視察報告…………… 10～11
- 議会日誌、12 月定例会予定…………… 12

NO. 54  
2007. 11



海中渡御に向かう山車(2006 三谷祭)

# 一般質問…ここが論点

## 9月定例会

9月市議会定例会中、4日、5日、6日の3日間で、市政全般について13人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

### 新実祥悟（無会派）

#### 障害者雇用について

**問** 障害者自立支援法により義務付けされた就労支援事業の取り組みと就労支援員（ジョブコーチ）の支援要請の実態はどうか。

**答** 浜町に相談専門員を配置した「障がい者支援センター」を設置しており、企業訪問やハローワークとの連携をとりながら支援活動を実施している。

**問** 東三河の社会福祉法人等に所属するジョブコーチに支援要請を行い、障害者の就労支援に努めている。

**答** 一般企業への長期雇用に関するネットワークづくりができないか。

**問** 今年7月から、障害者の雇用実績のある事業主も加わった障害者自立支援協議会が設置された。また、実務者によるケース検討会議を重ねながら、具体的な支援体制づくりを推進したいと考える。

その他の質問  
1 指定管理者制度に関わる処分について

#### 大場康議（市政クラブ）

#### 防災対策について

**問** 気象庁の緊急地震速報や市防災無線に対応した防災行政ラジオを市内全戸配布する考えはないか。

**答** 今年度は予定数を大幅に上回る2520台の申し込みがあり、補正予算で申込者全員に販売する。今後はテレビ、携帯電話



防災行政ラジオ

等で地震速報が可能となることなどから、数年の短い期間での販売としたいが、希望者の要望には応えたい。

**問** 災害発生時に要援護者の名簿作成が必要だが、本市の整備状況について伺う。

**答** 高齢者・障害者・乳幼児・外国人等が災害時要援護者に該当するが、これらの方のデータは市で保有しているが、地域や自主防災会等に配備されていないのが現状である。個人情報保護法が支障となり、名簿作成が困難なこと、仮に名簿作成がされても、災害時に機能する地域関係者の連絡システムが未整備なことなど問題が多いが、今後、市民の防災意識の高まる中で、研究・検討はしていく。

#### 野崎正美（市政クラブ）

#### 国道23号蒲郡バイパスについて

**問** 蒲郡バイパス全線の開通時期はいつと予想しているか。また、蒲郡西ICと関連アクセス道路が整

備されるのはいつか。

**答** 事業主体である国土交通省から、10年後の全線開通を目指すと聞いている。蒲郡西ICは、平成21年が供用開始目標だが、アクセス道路も同時開通に努力している。

#### 競艇の上空通路と施設改善計画について

**問** 上空通路が中断して久しいが、現状と今後の見通しについて伺う。

**答** 用地交渉の難航と収益悪化により中断していたが、今年度から用地買収を再開している。



蒲郡競艇場

蒲郡公民館（中部市民センター）



**問** 老朽化と耐震強度に不安がある現施設の改善計画をどう考えているか。

**答** 全国24競艇場の中で最も老朽化が進み、施設改善を検討する時期にきている。コンパクトで災害時の避難場所として利用できる施設を検討したい。

**鎌田篤司（市政クラブ）**

蒲郡公民館、がまごおり児童館の改善計画は

**問** 蒲郡公民館（中部市民センター）は、市内の公民館では一番古い建物であり、耐震診断でも要改修の判定が出ている。早急に

対策が必要だと考えるが、市の考えはどのようなか。

また、老朽化、手狭さが目立つ、がまごおり児童館の改善計画を伺う。

**答** 蒲郡公民館の建替えの必要性は十分承知している。建替えをするなら、平成22・23年を考えている。

がまごおり児童館の改善は、南部保育園、蒲南小学校を含めた一体的な整備を考えていきたい。

地域活動奨励交付金の今後の交付額について

**問** 地域活動の大切な原資である地域活動奨励交付金を、新年度に向けてどのように考えているか。

**答** 平成20年度の交付額は、今年度と同額としたい。21年度以降の地域活動奨励交付金については、問題解決に向け引き続き総代連合会と検討を続けていきたい。

**大竹利信（公明党）**

緊急地震速報を活用するための取り組みは



**問** 緊急地震速報を有効に活用するための今後の取り組みについて伺う。

**答** 家庭や職場等で速報発表時の行動マニュアルを事前に作成しておくことが必要不可欠である。

市では、現在各課の初動マニュアルの見直しを行っており、速報が発表された際の対応も追加するよう指導していく。また、地域や小中学校、保育園等にも訓練を実施していただくようお願いしていく。

**「ご当地検定の実施を**

**問** 地域への理解を深め、おもてなしの心を次世代に語り継ぐために、全国的に話題となっている「ご

当地検定」を実施し、観光振興に役立ててはどうか。

**答** 今年度中に旅館、観光なしコンシェルジュ（観光総合案内人）養成講座を行う。来年度には検定試験を実施し、将来は市民にも参加の枠を広げていきたい。

**伴 捷文（市政クラブ）**

広域消防への考え方

**問** 消防の広域化への選択の時期が近づいてきているが、広域消防に対する市の基本的な考え方を伺う。

**答** 現在、広域化案の検討が行われており、来年1月か2月には最終決断を



迫られるものと考えている。今後は県が示す広域化案の説明を受けながら検討していくが、現段階では市民サービスが向上できなければ広域化すべきでないと考えている。

地上デジタル放送の難視聴地区精査は

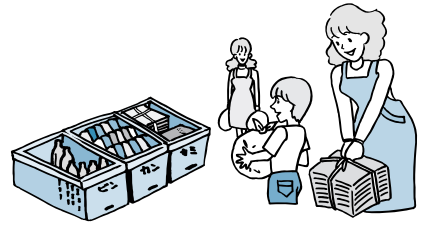
**問** 2011年にデジタルテレビ放送に移行するが、市内の一部で新たな電波障害が発生すると聞く。地上デジタル放送を前に、難視聴地区を精査する考えはあるか。

**答** 総務省が各放送事業者に対して指導を進めているので、市としては、今すぐ不感地区を精査することとは考えていない。放送事業者がどのような対応をとるかを見守りたい。

**飛田常年（市政クラブ）**

「ごみの資源化、減量化への取り組みは

**問** 市は毎年、ごみ処理費に多額の経費をかけて



いる。資源ごみの分別についても同様である。市民に対し、地球温暖化対策のためにもごみ袋の有料化など、ごみ減量につながる応分の負担を求めるべきではないか。

**答** ごみ袋の有料化に取り組む必要があるが、その前にやる必要があるのではないかと提言もある。まずは、プラスチック容器包装の分別収集と資源物の朝出し事業を実施する。その後、ごみ減量推進対策協議会に報告し、評価していただいた後に、ごみ袋の有料化の議論をしていきたい。

蒲郡市内における  
ほ場整備の優先順位は

**問** 蒲郡市内におけるほ場整備は、豊岡、三谷地区の完了後が大塚地区と認識しているが、いかがか。

**答** 国道23号蒲郡バイパス関連である柏原地区を除けば、次期候補は大塚地区であると考えている。

喚田孝博（市政クラブ）

蒲郡駅東側での  
駐輪場の確保を

**問** 鉄道高架事業も最終年度となり、蒲郡駅周辺整備事業が進捗している。駅東自転車駐輪場の撤去に伴って、駅西側の高架下駐



蒲郡駅東自転車駐輪場

輪場の整備が行われるが、駅東側にもきちんとした駐輪場を設置しなければならぬと考えるがいかがか。

**答** JR東海は、駅舎東部の土地について自社利用を示唆しているが、高架下利用の協議の中で、駅東側においても駐輪場用地を確保できないか打診している。

若者自立支援サポート  
について

**問** 市は、「がまごおり若者サポートステーション」とどのように関係を持ち、支援していくのか。

**答** 市は、「がまごおり若者自立支援ネットワーク協議会」を設置し、情報交換、関係機関との連携を図っている。今後は、市内、近隣市町への周知を図るとともに、官公署との連絡調整などの支援を行っていく。

後期高齢者医療制度  
の減免対策は

日恵野佳代（日本共産党）



**問** 来年4月からの後期高齢者医療制度の導入に伴い、75歳以上の高齢者に対する負担が重くなり、未納者が増加する可能性が高い。低所得者への減免対策を求める。

**答** 70～74歳の医療費の窓口負担が2割になることで、受診抑制が起きないか。県の広域連合で、減免措置について考えているので、これ以上広域連合に申し上げる考えはない。受診抑制は起こらないのではないかと考えている。

児童クラブの充実を

**問** 小学校4年生以上の児童の受け入れと、7時

30分からの開始を求める。指導員は8時から来ているので、少なくとも8時に部屋には入れるはずである。

**答** 小学校4年生以上の児童も受け入れるとなると、高学年を指導できる指導者の確保が非常に大きな課題となる。7時30分からの受け入れは難しい。

緊急時における  
救急医療体制は

**問** 近年、救急車の出場回数が増加傾向にあるが、軽症患者に出場して、重症患者からの要請に影響が出たケースはないか。

**答** 今のところ、軽症患者からの要請があつて、影響が出たようなケースはない。

**問** 救急車で搬送する優先順位を判断するための指針などはあるのか。

**答** 搬送順位を決めるような判断は、救急隊員が救命士の資格を有しているため、困難であるため実施していない。

**問** 初期救急医療には、在宅当番医や休日急病診療所などの制度があり、これらが機能すれば救急要請の件数も減るのではないかと努めたい。

**答** 在宅当番医制度や休日急病診療所制度のPRに努めたい。

その他の質問

- 1 非正規職員の雇用実態と今後の方向性は
- 2 公共施設の管理に

関する考え方は

**柴田安彦**（日本共産党）

**多重債務者問題について**

**問** 多重債務者問題についてどのような認識か。

**答** 多重債務者にかかる相談窓口は現在設置していないが、早急にフォローする必要があると認識している。

**問** 多重債務者の解決への誘導を図るといふことを市の職員に徹底させ、各課の連携をとることが大事だと考えるがどうか。



**答** 商工観光課に消費生活の相談窓口があるので、そこを窓口として各課の連携をしていければと考えている。

**問** 弁護士に紹介するだけでは解決にならない。多重債務者を励まし、職員が丹念に経過を聞き取り、弁護士に引き継ぐなどのフォローが必要ではないか。

**答** 国から示されているマニュアルに基づき、市の職員が多重債務者と面談し、事情等を聞き、それを相談カードという形にまとめ、本人に持たせたり、弁護士に郵送で送ったりすることは、市でやらなければいけないと思っている。

**大向正義**（会派がまごおり）

**蒲郡市医師会の委託費不正受給について**

**問** 各医師会会員に精算問題に関して市の考え方を伝える必要があると思うので書面配布してはどうか。

**答** 医師会長の理解を得た上で、医師会から各会員に配布していただくようお願いしたいと思う。

**問** 6月の文教委員会では提訴も視野に入れておられるとの発言があったが、現時点の考え方を伺う。

**答** 医師会長は精算協議を続けるという発言をされているので、協議を続けていく。提訴となるのは、



保健医療センター

協議がとまってしまったときだと思っている。

**問** 日本医師会常任理事をはじめとする5名連名による東三河南北医療圏医師会会長議の文書があるが医師会長及び市の考えを伺う。

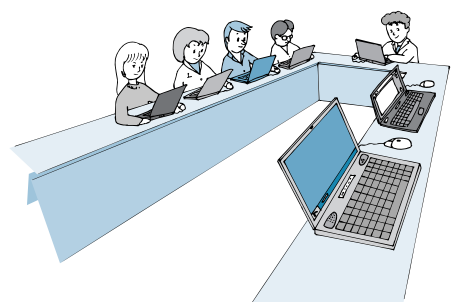
**答** 医師会長からは、その会議は県医師会及び郡市医師会の規定にない会議であると聞いている。市は精算問題について、市と市医師会との2者で協議すべき問題であり、県医師会が介入する問題ではないと考えている。

**松本昌成**（公明党）

**財政健全化計画の推進を**

**問** 財政健全化計画は財源確保や歳出面での経費削減に努めるということだが、取り組みについて伺う。

**答** 歳入については、インターネット公売の活用、市債の発行額をコントロールし公債費の償還額の削減、使用料や手数料の見直し、有料広告の導入等に取り組み。歳出については、職員



数の純減、特別会計や企業会計への繰出金の見直し、民間委託等の推進を行い削減に努めたいと思っている。

**子育て支援と学校教育の取り組みは**

**問** 3期目に臨む市長の公約について伺う。

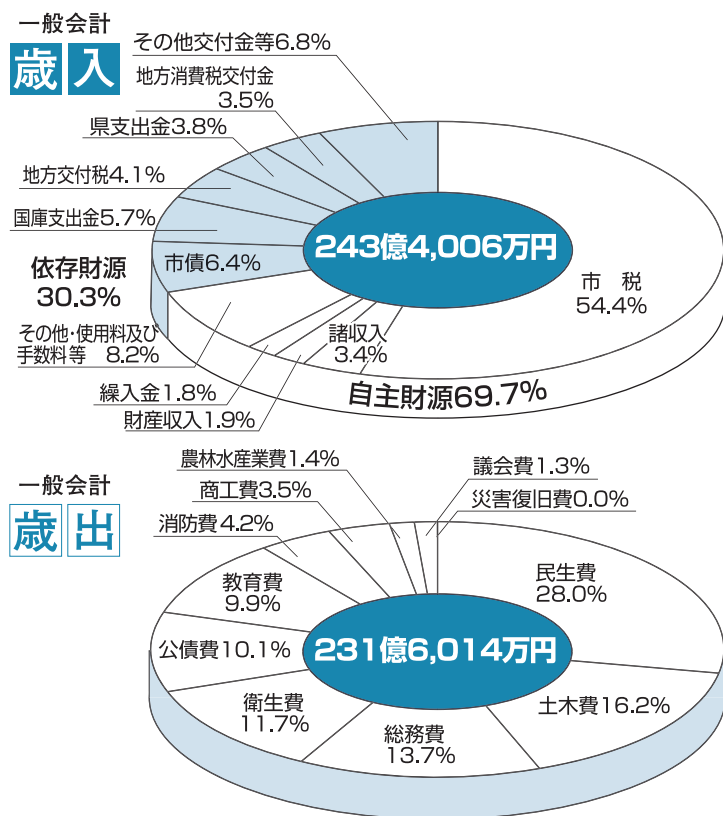
**答** 乳幼児医療費は現在6歳まで無料であるが、小学6年生まで引き上げる。そして、中学3年生までの入院費を無料にする。

市内全校に特別支援教育補助員を配置し、高機能自閉症等の発達障害のある児童生徒の学習支援を行う。また、子育て総合支援センターを設立する。

# 平成18年度一般会計決算 などを議決

9月定例会  
議案

9月市議会定例会は、9月4日から21日までの18日間の会期で開き、議案26件、請願3件、意見書案5件、陳情4件を審議しました。  
平成18年度決算の認定など、その主な内容をお知らせします。



## 平成18年度 決算

	歳入	歳出
一般会計	243億4,006万円	231億6,014万円
特別会計	1,271億8,505万円	1,259億6,584万円
企業会計		
水道事業	収益的 18億9,022万円	17億8,736万円
	資本的 6,983万円	4億8,584万円
病院事業	収益的 71億6,071万円	77億3,289万円
	資本的 2億9,656万円	4億6,840万円

※企業会計は、消費税を含んだ金額。1万円未満は四捨五入。

**歳出前年度比 96.0%**  
一般会計の歳出は、前年度比96・0%、歳入は同96・6%でした。

**●一般会計決算**  
決算委員会での主な質疑は次のとおりです。

**●歳出**  
平成18年度一般会計決算など12会計決算は、18人の委員からなる決算審査特別委員会（委員長 捷文、副委員長 喚田孝博）を9月4日に設置し、13日、14日、18日の3日間にわたり審査しました。

### 決算審査 特別委員会から

一般会計の歳入から歳出を引いた額は、11億7992万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源7488万円が含まれていますので、これを除いた実質収支額は11億504万円の黒字です。

**●総務費**  
情報ネットワークセンター設置の自動交付機の利用率が低いようだが、稼働率を上げるために、休日窓口に設置したかどうか。

**●歳出**  
自動交付機がネットワークセンターに設置され、市役所の閉庁時にも利用で

### 証明書自動交付機

情報ネットワークセンター設置の自動交付機の利用率が低いようだが、稼働率を上げるために、休日窓口に設置したかどうか。

自動交付機がネットワークセンターに設置され、市役所の閉庁時にも利用で

### 特別会計決算(事業別内訳)

	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	76億7,663	73億9,531	2億8,132
老人保健	61億9,418	61億7,599	1,819
介護保険事業	40億8,256	40億236	8,020
モーターボート競走事業	1,045億7,521	1,041億2,457	4億5,064
土地区画整理事業	16億7,706	15億2,751	1億4,955
公共用地対策事業	2億8,433	1億7,513	1億920
下水道事業	26億3,766	25億2,497	1億1,269
三谷町財産区	4,602	3,084	1,518
西浦町財産区	1,140	916	224

※決算認定——議会在一般会計年度の歳入歳出予算の執行実績である決算について、内容を審査した上で確認し、認定することであり、議決事項の1つです。

きることを、市民に再度周知することが必要だと考えている。交付機を休日窓口に設置することについては、一度検討してみたい。

●民生費

**緊急通報装置設置**

**問** 緊急通報装置の取付け台数、待機者はどのくらいか。装置の設置対象を在宅介護世帯、昼間独居世帯にも拡大する考えはあるか。

**答** 現在676台を設置している。設置要望は85件あるが、新規、回収分で充足できるため、実質待機者はいない。現行制度において対象者は独居、高齢者夫婦世帯等であり、未設置世帯が約3千世帯もあるため、拡大する考えはない。

●衛生費

**マタニティマークの周知**

**問** マタニティマークの周知は妊婦自身ではなく、その周りの方々に行い、妊婦に気づいていただけるような環境を整備することが大切であると考えますが、どのように周知していくのか。

**答** マタニティマークの周



マタニティマーク

知は、まだまだ行われていない。今後は、役所はもちろん、人のたくさん集まるスーパーなどの場所にポスターを貼っていただくなどして周知に努めていきたい。

●農林水産業費

**大塚地区ほ場整備調査委託**

**問** 大塚地区ほ場整備調査は、どのような調査をしているのか。

**答** 14年度に基礎調査、地形図の作成を行い、16年度から地区内の登記簿謄本、公図等を照合し、相続の必要性、道路の所有状況等を調査して土地調書を作成している。18年度は西工区東半分の調査を行った。19年度は引き続き残りの調査を実施する予定である。

●商工費

**インターネット広告の導入**

**問** 最近では、旅行に行く

場合に新聞や雑誌で調べるのではなく、インターネットで直接検索する機会が多いと思われる。市は大手企業のホームページに「蒲郡の観光」としてバナー広告等の掲載を検討したことはあるか。

**答** 発行部数の多い雑誌に広告を掲載するようにしてPRを図っている。今のところ、バナー広告等の導入は検討していない。

●土木費

**鉄道高架による側道整備**

**問** 鉄道高架事業が平成19年度で最終年度となるが、最終的に関連側道の交通規制は、どのようなになるのか。

**答** 側道については原則、鉄道高架北側は東向き、南側は西向きの一方通行となる。

る。周辺道路の整備状況によつては、当面相互通行となる側道もあると考える。交通規制については、地元の要望も含め、警察と協議しているが、最終的には該当道路周辺の状況によつて決定される。

●消防費

**木造住宅耐震補強助成**

**問** 木造住宅耐震補強工事費の助成について、蒲郡市では上限60万円となっている。県内の他市町村では他にどの様な助成が実施されているのか。

**答** 現在つかんでいる情報では、60万円の上限金額以外に、市単独で補助限度額の増額をしている市が3市、補助対象強度の拡大をしている市が1市、改修計画の

■ 9月定例会の日程

4日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕
	決算審査特別委員会
5日	本会議〔一般質問〕
6日	本会議〔一般質問〕
7日	総務委員会
10日	経済委員会
11日	文教委員会
	議会運営委員会
13日	決算審査特別委員会
14日	決算審査特別委員会
18日	決算審査特別委員会
21日	本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

策定に対しても補助をしている市が3市という状況である。

●教育費

**上ノ郷城跡の発掘調査**

**問** 今年度の2月にも2回目の調査を行うと聞く。その成果には期待しているが、目的と展望を確認したい。

**答** 地元の人たちには、城跡の草刈りなどご協力をいただいている。保存の気運が高まっていることを認識し、発掘調査によって城跡の性格や概要を掴みながら、今後どのようにしていくのかを検討したい。

■歳入

**地方交付税の減少**

**問** 地方交付税が予算よりも少なかったようだが、あと何年かしたらなくなるといふ話を聞いている。予測としては何年ごろになりそうか。

**答** 国が減らしているという考えがあるため19年度もかなり減っている。こういう状況からいくと財政力指数に関連することであるが、2、3年後と考えている。

## ● 最近3か年のモーターボート繰出金

単位：万円

会計名	年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度
一般会計		0	0	0
特別会計	下水道事業	0	3億1,200	8億9,500
企業会計	水道事業	0	0	0
	病院事業	6億	0	0
合計		6億	3億1,200	8億9,500

●モーターボート競走事業  
特別会計  
年間の売上額は631億4200万円、前年度比14%の増、利用人員も29.9%の増となっています。  
問 8月2日から入場料が無料化になったが、入場者数はどのようになったか。  
答 昨年と今年の8月のレースを比較すると、大幅に増加している。傾向としては若いカップルや女性のみ、家族連れのお客様が非常に増えたとみている。

## ● 水道事業会計

経営収支の状況は、総収

益は8703万円の純利益を計上し、当年度未処分利益剰余金は2億2349万円です。

## ● 病院事業会計

経営収支の状況は、6億5060万円の純損失を計上し、当年度未処理欠損金は88億8990万円に増加しています。

## 条例の制定・改正

### ● 市長、副市長、教育長の給料月額のカット

(第60・61号議案)

平成18年度、市民会館の指定管理者であった有有限会社イマジンの経営破綻により、年度途中で指定管理を取り消す事態が生じました。市民に迷惑をかけ、信用を損なった責任の一端を担うため、市長、副市長、教育長から平成19年10月に支給される1カ月分の給料のうち10%を自主的に減額する申し出があり、減額を行っています。

### ● 市民会館に再び指定管理者制度を導入

(第66・68号議案)

平成20年4月1日から、市民会館の管理を再び指定管理者に行わせることになりました。  
今回は8月1日に蒲郡市指定管理者選定委員会を開催し、候補者として申請のあった8団体から総合点数方式により指定管理者を選定しました。その結果、豊川市の株式会社ピーアンドピーが指定管理者に選ばれました。同社は現在、勤労青少年ホームの指定管理者にもなっています。

## ● 文教委員会での主な質疑

問 前回問題となった、指定管理料の支払いはどういう形態になるのか。

答 四半期ごとの実績払いとします。



蒲郡市民会館

## 意見書

- ②道路整備の促進と財源の確保を求める意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、経済財政政策担当大臣
- ③割賦販売法の抜本的改正に関する意見書  
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、経済産業大臣
- ④学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書  
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ⑤国の私学助成の増額と拡充に関する意見書  
内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣
- ⑥愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書  
愛知県知事  
(○内の数字は、意見書案番号。②は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。)

## 陳情

- 学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める陳情書  
提出者 蒲郡市教員組合  
執行委員長 小田高久氏ほか  
362名  
審査結果 採択
- 国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 採択
- 愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 採択
- 市町村独自の私学助成の拡充を求める陳情書  
提出者 酒井康子氏ほか2名  
審査結果 聞きおく



その他の議案

●教育委員会委員の任命

委員小林静子氏の任期が平成19年9月30日に満了することに伴い、同氏を引き続き任命することに同意しました。

●物品の購入

競艇場の自動払戻機33台を設置代及び諸経費等を含めて9096万1500円で購入します。購入先は日本トーター株式会社で、契約方法は随意契約です。

■ 9月定例会で審議された議案の一覧

○条例の制定・改正

- ⑥0 特別職の職員の給料月額の特例に関する条例の制定
- ⑥1 教育委員会教育長の給料月額の特例に関する条例の制定
- ⑥2 市職員の退職手当に関する条例の一部改正
- ⑥3 政治倫理の確立のための蒲郡市長の資産等の公開に関する条例の一部改正
- ⑥4 道路占用料条例の一部改正
- ⑥5 特別用途地区建築条例の一部改正
- ⑥6 市民会館条例の一部改正

○決算

- ⑦1 平成18年度一般会計歳入歳出決算の認定
- ⑦2 平成18年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦3 平成18年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦4 平成18年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦5 平成18年度モーターボート競走事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦6 平成18年度土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦7 平成18年度公共用地対策事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦8 平成18年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑦9 平成18年度三谷町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑧0 平成18年度西浦町財産区特別会計歳入歳出決算の認定
- ⑧1 平成18年度水道事業会計決算の認定
- ⑧2 平成18年度病院事業会計決算の認定

○補正予算

- ⑧3 平成19年度一般会計補正予算(第2号)
- ⑧4 平成19年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ⑧5 平成19年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第2号)

○同意

- ⑥7 教育委員会委員の任命

○その他

- ⑥8 指定管理者の指定(蒲郡市民会館)
- ⑥9 市道の路線認定、廃止及び変更
- ⑦0 物品の購入(T6型自動払戻機)

(○内の数字は議案番号。⑥0、⑥1、⑥2、⑦1、⑦2、⑦4、⑦5は賛成多数で可決され、それ以外は全会一致で可決されました。)

■ 請 願

②悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正に関する請願書

提出者 愛知県弁護士会  
会長 村上文男 氏  
審査結果 採択

③国民健康保険料を安くするための請願署名・市議会の審議を、ケーブルテレビ等での放映を求める請願署名

提出者 豊川民主商工会  
会長 伊藤 純 氏  
審査結果 不採択

④格差と貧困を広げないための、消費税改正の請願署名・市議会の審議を、ケーブルテレビ等での放映を求める請願署名

提出者 豊川民主商工会  
会長 伊藤 純 氏  
審査結果 不採択

■ 9月定例会で議決された平成19年度補正予算(千円)

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出 予算の総額
一般会計 (第2号)	蒲郡市議会議員補欠選挙 執行費(9,860千円)	140,280	23,740,910
	道路新設事業費追加 (35,140千円)		
	塩津駅北側地区の用地 買収費追加(22,110千円)		
	蒲郡駅自転車駐車場の移転 整備費追加(44,500千円)		
	防災行政ラジオ購入費等 追加(8,810千円)		
介護保険事業 特別会計 (第1号)	国庫支出金等返還金追加	71,900	4,440,100
モーターボート 競走事業特別 会計(第2号)	大時計等の更新事業費及び 周辺地区の環境整備事業費 等追加	103,420	118,105,420

# 委員会通信

## 井戸水検査結果についての報告

9月10日に開かれた経済委員会において、興和株式会社周辺地域の井戸水検査の結果報告がありました。

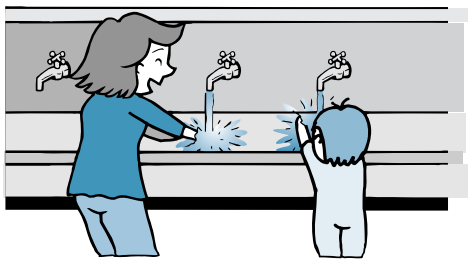
今回の検査では、テトラクロロエチレンとトリクロロエチレンを検査項目として、7月20日から8月6日の間に採水を行いました。合計160件の申し込みを受け、このうち飲用基準を超えたという井戸水は、テトラクロロエチレンでは19件あり、うち台所用用途は5件でした。トリクロロエチレンでは2件が飲用基準を超えていました。この2件は共にテトラクロロエチレンの飲用基準も超えています。この飲用基準を超えた19件の世帯においては、すべて水道水の給水装置があります。

この結果は、9月4日付で各戸に郵送しています。

また、今回の結果とともに、9月7日に愛知県に対してモニタリング調査箇所を増やしてもらえようという要望書を提出しました。

●**経済委員会での主な質問**  
問 飲用基準を超えた台所用用途として使用している5件について指導はどのようか。

答 飲用においては安全な水道水の利用を勧め、やむを得ず飲まれる場合は煮沸していただくように文書を添えて結果を送付しております。



問 今回の検査で汚染の原因究明につながる結果があったか。

答 飲用基準を超えた場所が一番多かったのが御幸町の12件で、これを地図上に落とせばどういう分布であったかはわかりませんが、それが原因究明につながるかは不明です。原因究明の作業に関しては愛知県の作業となっております。

## 第3子の保育料無料化についての報告

9月11日に開かれた文教委員会において、第3子の保育料無料化についての報告がありました。

3人以上の児童を育てている世帯に対し、第3子以降の児童にかかる保育料が無料となります。これは認可（公立）保育園8園だけではなく、認可外保育所を利用している児童にも対象となります。

対象となる児童は次の①から③のすべてに該当する児童です。①18歳になる年度末までの児童が3人以上いる世帯で3人目以降の児童。

②認可保育所または認可外保育所に入所中の児童で保育に欠ける児童。③保育の実施が行われた日の属する月の初日において3歳に達していない児童で、2歳児までの保育料を徴収している児童。

●**文教委員会での主な質問**  
問 蒲郡市における、保育に欠ける児童となる基準就業時間数はどのようか。

答 今現在、蒲郡市が保育園の入所の基準としている時間数は、1日4時間以上、1カ月15日以上です。今回の無料化によって低年齢児については、1日6時間以上

上、1カ月15日以上という基準に変更します。

問 ゼロ歳児から2歳児までに限定している理由は。

答 3歳児から5歳児については、保育料自体が全体に安くなっていますので、保育料の高いゼロ歳児から2歳児について経済的な支援をします。



## 本会議のインターネット録画放映

インターネットで一般質問の録画放映を行っています。会議終了後、1週間以内に掲載しております。ぜひご覧ください。

インターネット放映のリンク先  
<http://www.city.gamagori.aichi.jp/gikai/tyukei/tyukei.html>

## 会議録検索システム

市議会本会議の会議録をインターネットでご家庭から閲覧・検索することができます。ぜひ、ご利用ください。

◎ 市議会ホームページ  
<http://www.city.gamagori.aichi.jp/gikai/>



## 委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、6月に議会運営委員会が、7月、8月に総務・経済・文教の各委員会が行政視察を行いました。その概要をお知らせします。

### ●総務委員会 7月30日～8月1日

総務委員会は、7月30日から8月1日にかけて、福島県郡山市、宮城県栗原市、岩手県奥州市を視察しました。

郡山市では、消防の広域化について、経験に基づくメリット・デメリットを伺うことができました。栗原市では、今年5月に新消防庁舎が完成しており、その建設過程や内容について勉強してきました。奥州市では、いきいきまちづくり支援事業という中間支援NPOによる交付金事業についての説明を受けました。

通信指令室の説明を受ける(郡山市)



### ●文教委員会 7月30日～8月1日

文教委員会は7月30日から8月1日にかけて、香川県坂出市、山口県防府市、広島県三原市を視察しました。

坂出市では市立病院を視察し、赤字経営から脱却し黒字経営とするために、経営改善をどのように行ってきたのか委員の関心が集まりました。防府市では、子育て支援事業について同市独自の施策等の説明を受けました。三原市では、お年寄りを対象とした「老人大学事業」について説明を受けました。

老人大学の現地視察をする(三原市)



### ●議会運営委員会 6月26日～27日



議会基本条例の説明を受ける(伊賀市)

議会運営委員会は、6月26日、27日に兵庫県川西市、三重県伊賀市を視察しました。視察項目は、川西市が議会運営(特に議会内でのパソコンの使用)、伊賀市が議会基本条例と合併前後の議会運営についてです。

伊賀市の基本条例では、議員と行政の緊張関係を保持するため行政側からの反問権が認められています。また、毎定例会後の「議会報告会」の実施が義務づけられています。その他に「出前講座」、「政策討論会」も設置されています。

### ●経済委員会 8月7日～9日



中心市街地へ出て説明を受ける(八戸市)

経済委員会は、8月7日から9日にかけて、宮城県多賀城市、青森県八戸市、岩手県盛岡市を視察しました。

多賀城市では、プラスチック製容器包装の分別収集導入時の苦労話を伺いました。八戸市では、官民で知恵を絞った積極的な中心市街地活性化策、商店街振興策を、実際に市街地を歩いて説明を受けました。先進的な観光施策で最近脚光を浴びている盛岡市では、おもてなしの心を育てる観光客誘致策などを勉強しました。

# 議会日誌

7月24日から10月4日

## 7月

30日～8月1日  
総務委員会行政視察  
文教委員会行政視察

## 8月

7日～9日  
経済委員会行政視察  
23日 議会運営委員会理事会  
27日 9月定例会招集告示  
議案説明会  
30日 議会運営委員会

## 9月

4日～21日  
9月定例会  
6日 議会運営委員会理事会  
11日 議会運営委員会  
21日 議会だより編集委員会  
25日 国道23号蒲郡バイパス  
建設特別委員会  
26日 議会だより編集委員会

## 10月

4日 議会運営委員会理事会  
議会だより編集委員会

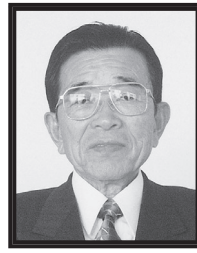


## 12月定例会の 開会日・日程は

12月市議会定例会は、12月5日(水)から開かれる

予定です。  
詳しい日程は、11月30日(金)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。

## 故山本和市議員を悼む



山本和市議員(会派がまごおり)が8月21日に急逝されました。  
昭和38年に初当選以来、13期40年の長きにわたり市議会議員として、「是々非々」をモットーに、特に

税の滞納解消や産業振興、競艇事業の発展に尽力されました。  
その間、総務、経済、文教の各委員長及び監査委員を歴任され、平成15年に全国市議会議長会表彰を、16年には市功労者表彰も受けられました。  
ここに哀悼の意を表し、心からお悔やみ申し上げます。

## 点字版とテーパー版も 発行しています

がまごおり議会だよりは、目の不自由な方向けに、点字版とカセットテープ版を発行しています。

点字版は、点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、テーパー版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で行われています。

## 新潟中越沖地震へ 災害義援金

市議会議員親睦会は、去る7月16日に発生した新潟中越沖地震で被害を受けた方々に新潟県災害対策本部を通じ、災害義援金10万円を送りました。

## こちら編集委員会 66-1169

9月議会は一般会計決算などを審査し、認定する大切な議会です。今年度の決算審査特別委員会は4月の選挙後初めてとなり、正副議長、監査委員を除く議員で構成する委員会は1名の欠員もあり18名での審査となりました。それぞれの立場から市政の課題について真剣に議論し、今後の市政運営に反映させることができるように理事者と意見をたたかわせました。

又、今回の委員会から一般傍聴者に対して議論を解り易くするために委員会資料が閲覧できるようになりました。

これからも開かれた議会を目指し、工夫して参ります。市民の皆さま方のご意見をお待ちしています。

## 議員の寄付は 罰則をもって禁止されています

## 有権者が求めることも 禁止です

年賀状等のあいさつ状 祭り等の寄付 お歳暮など

